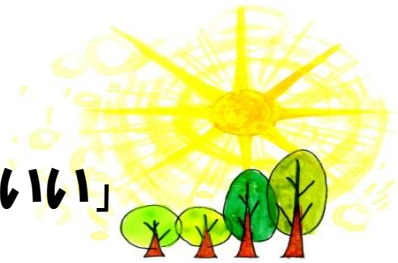




## ※私の保育スケッチ※

### 「みんな違ってみんないい」



年少児の担任をするのは、今回で6回目となります。初めて年少児の担任をした時は保育士3年目でしたので、「クラスを一つにまとめよう！」「みんな一緒に同じ活動を楽しもう！」と必死でした。

それから保育士の経験を積む毎に、多少の余裕が生まれてきたのですが、今回はあの頃の必死さに負けず劣らず奮闘する毎日です。それは、いろいろな子どもと関わり、いろいろな研修で学ぶうちに、一人ひとりの個性を尊重したいという気持ちが強くなったからだと思います。

個性豊かな16人の年少児の中で、2歳児から入所したA君は、月齢が低いこともあり、気持ちを言葉で表現することが難しいようでした。前年度は、思い通りにならないと泣いたり大声を上げたりし、全身を使って訴えているように見えました。気持ちの切り替えに時間がかかることもあり、保育士と一対一でじっくり関わる必要がありました。

さて、年少児になり今まで4人だった担任が1人になりました。私はA君の気持ちに寄り添うことができるか不安でした。

4月のある日、戸外遊びを終えて室内に入ろうとすると、まだ遊びたかったのか庭の隅で立ちすくんでしまうことがありました。全員で一緒に室内に入って欲しい気持ちはありましたが、A君の気が済むまで見守ることにしました。すると、泣いたり大声を上げたりすることなく保育室に入り、他児と一緒に次の活動をするのでした。

また5月のある日、食事の時間に、机の角に座りたいと指差して訴えることがありました。すると他児から「机の角には座らない約束だよ。」とクラスの約束を指摘され、その場に座り込み泣いてしまいました。他児の手前、約束は守らせたかったのですが、「今日は特別ね。」と伝えるとA君や他児も納得し、全員が気持ちよく食事をすることができました。

この頃からA君は、思い通りにならないことがあっても、保育士の話を聞き入れて折り合いをつけられるようになりました。そんなA君の心の成長を感じる度に、「みんな違ってみんないい」のだと再確認します。A君のお陰で、個性を尊重し、一人ひとりの気持ちに寄り添った保育を心掛けようという気持ちが、更に強くなりました。

(8月下旬記 公立保育所3歳児担任)



## ※第9回 幼児教育教職員 自作保育教材展の開催を予定しています。



展示期間：平成29年2月13日(月)～2月27日(月)

9:00～17:00

※日曜日は除く。27日は正午まで。

※日程等は、変更になる場合もあります。

展示場所：前橋市総合教育プラザ 3階 教育資料展示室